

第 40 号

http://www.nisshiren.com/

あ〜す・れっく

= 日 資 連 界 報 =

日本再生資源事業協同組合連合会
〒101-0061 千代田区三崎町2-21-1
TEL 03 (3263) 9101
発行人 紺野 武郎
編集人 星本 昭次
印刷 株式会社資源新報社

一本省認可の取得をめざして 「再生資源回収事業者認定制度」の更なる拡大へ

日資連の活動経緯

日資連では、長年の懸案である本省認可の取得をめざして、現在さまざまな活動を展開しているが、その柱ともいえる「再生資源回収事業者認定制度」は実質スタートから一年余りが経過した。そこで昨年末、同認定制度を含めた日資連改革のこれまでの経緯、今後の方向性などについて整理し、改めて日資連としての見解を示す機会を持った。詳細については日資連ホームページ上で近日、公開の予定となっている。

産業の高度化やグローバル化につれ、再生資源業界としても相応の対応を求められてきた。しかしながら、長年にわたる再生資源価格の低迷期にあって、業界としての長期的な展望を示すことができない状況に苦慮していた。

そのようななか、平成十五年九月、有志によるシステムプランニング委員会が日資連改革に向けて特に緊急性、重要性の高い三テーマ、「①情報の迅速化」、「②本省認可取得」、「③財政の健全化」――など当面の活動テーマを提案、それを受けて十五年十一月にプロジェクトNが三年間にわたり課題とが先決との結論に至った。

「情報の迅速化」については、ホームページの拡充や組織的な伝達方法の見直しなど、具体的な取り組みが進められ、また、「財政の健全化」については、実績を示すなど組織の評価を高めることとが先決との結論に至った。

そこで、その後の協議の中心を「本省認可の取得」に向けた活動の具体策とした。

企業の社会的使命、法令順守という概念が広く浸透するなかで、業界の取り組みと再生資源業界との微妙な温度差から、地域で個々の企業ベース、組合ベースでさまざまな商売上の支障が出てきたという報告がしばしば本部に寄せられるようになった。

＝年頭所感＝ さらに改革の帆を広げて 会長 紺野 武郎



会 長 紺 野 武 郎

平成十九年の新春を迎え皆様のご清祥を心からお慶び申し上げます。

また日頃日資連の運営に對しまして、温かいご理解とご協力を賜り心より厚く感謝申し上げます。

昨年五月の第三十四回通常総会におきまして会長職を拝命しましたが、倉林前会長が進めて参りました組織改革の実践をさらに拡充して、資源回収業界の社会

的地位の向上を図りたいと思ひます。

平成十七年七月発足しました「日資連再生資源回収事業者認定制度」および「日資連リサイクル化証明書」が、業界のコンプライアンスと再生資源のトレーサビリティを立証する手段として、また日資連の運営上大きな役割を果たすものと確信致しております。

お陰をもちまして認定制度への登録者は七五〇社を超え、引き続き登録拡大の努力を重ねております。

特に「リサイクル化証明書」につきましましては、各種環境管理機構や資源物排出事業者そして日資連非加盟業者などからの問合せも多く、ものになりました。特に鉄

現在の認定制度普及状況

認定制度の進捗状況については、昨年末時点の認定数は全国で七五〇件ほどとなっている。事務手続きの関係で認定証を待っているという段階の会員も多く、年度内には

一〇〇〇超の認定を見込んでいる。

制度構築に向けた議論の段階から、さまざまな機会をとりえてこれら進捗状況を全国会員に報告してきたことも、多くの方にご理解いただけた要因と考えられるが、企業としてのコンプライアンスやトレーサビリティの確保という概念が業界内に浸透しつつあり、それを具現化するものとして今回の制度が受け入れられたという側面もある。

さらに今回の試みでは、認定制度とリサイクル化証明書の使用制限をリンクさせることとし、この点も含めて会員への周知を図った。なお、リ化証は最終のK票が本部に戻った段階で完了する仕組みとし、制度導入にあたってはK票の戻しを徹底することで、システムの実効性を高めた。使用義務を対象とした調査を継続的に行っているが、実際の使用と事業者による

当面の課題と今後の方向性

は、未加入業者について、あらゆる手段を講じてPRしていくこととしている。

日資連組織全体で見た場合、残念ながら依然として本部とのつながりが希薄な地域がある。そのため、地域の業者の実態も十分に把握できていないという状況にある。

そこで現在、それら地域に対し、近隣の加盟団体を通じて地域業界あるいは業界団体の実態把握するための予備調査を実施しており、その結果を待って、未加入、未整備地域への参加呼びかけを図っていくこととしている。現在、加盟してい

か、新たな会員の誘致は以前に、組織としての社会的な評価を高めることが先決との結論に至り、認定制度への参加を広く呼びかけつつ、業界全体の再生資源流通の安全性、違法性の確保に取り組む姿勢を広く社会に示すこととした。

では若干のタイムラグがあり正確なデータ集積は難しいものの、戻り率は確実に向上している。最終的には九割超はクリアできる見込みにある。リ化証については単に再生資源化委託のアイテムを提示するにとどまらず、適正な使用を確保することで仕組自体の信頼性や制度のレベルを高めたというのが日資連としての考えである。その点を徹底することで、認定制度の拡大にも弾みがついたという評価を得ている。

因みに、栃木県では認定制度の会員取得率が九五五という現時点で全国一という実績にある。リ化証使用に際しては同様のことが言えるが、取得者が増えることで、これに乗り遅れまいとする意識が働くよう、良い意味で二つの事業がプラス面での相乗効果につながっているとの報告もある。

また、地域の業者団体には現行制度上、加盟が難しい例もあるため加入方法を見直すなど、多くの意見を取り入れたかたちで実現に近づける努力を日資連という組織、そして我々の取り組みを再生資源を扱う事業者に広く周知していくことが重要だと考えている。今後

日本国と地球を救う静脈産業

衆議院議員 大畠 章宏



日資連の皆さん、明けましておめでとうございます。

昨年皆様のご支援を頂きまして誠にありがとうございました。特に県議会議員選挙では、各地域でのご支援を頂きありがとうございました。また、おかげさまで、日立市と水戸市でトップ当選、さらに土浦市でも初めての県議会議員を誕生させることが出来ました。皆さんのご支援に改めて感謝申し上げます。また、つくば、鹿島、稲敷、守谷でも、皆さんの温かいご支援を頂きましたが、残念ながら惜敗する結果となりました。

皆さんのご支援に感謝申し上げます。

さて、昨年九月に、小畠政権から安倍政権に代わりまして、五年半にわたる小畠政権を振り返ると、派手なキャッチフレーズを撒き散らし、国民を翻弄し、その一方で、八兆九千億円に上る国民負担増を押し付け、「市場

的弱者と地方都市は切り捨てられ、私たちのふるさとが弱体化し、国民不安は増えています。

さし、いよいよ、統一地方選挙と参議院議員選挙です。ふるさとが疲弊し、おかしな殺人事件も相次ぎました。

昨今の日本の国民生活と地域社会の実態を無視し、人心の荒廃を拡大している現在の政治を改革し、現場主義、現実の社会を直視して、国民のための政治に転換させな

ければなりません。

今年も、皆さんのご理解とご支援を頂き、日本の再建とふるさと再生のために全力を挙げて取り組みます。

さて、昨今の日本経済は、景気回復基調にあるといわれていますが、地域社会では実感できません。さらに、競争激化で、大量生産、大量消費の社会傾向も続き、資源の利サイクルが正常に働いていません。資源リサイクル産業は、まさに、日本

とアジア、世界の環境を守るためにも大切な産業です。

今年こそ、「日本静脈産業」として位置づけを明確にして、「静脈経路連」を作るぐらいの意気込みで活躍をいただければよい期待いたします。

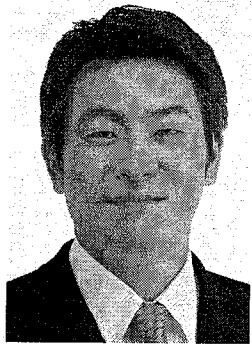
私も、リサイクル関係者の皆さんの協力を頂き、リサイクル議員(会長・甘利明衆議院議員)の幹事長として、社会環境を改善し、資源リサイクル促進のため尽力してまいります。

皆さんのますますのご健勝を祈念して新年のご挨拶と致します。

二〇〇七年一月

経済と環境の融合を

参議院議員 秋元 司



新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いたします。

さて、昨年は五年間続いた小泉内閣から安倍内閣に変わり、戦後生まれの初代総理大臣が誕生し、政治も世代交代が行われたところであり、そこ

の内の閣の重要法案の一つであった教育基本法の改正、防衛省への移管等、国会を通過させていただきました。

特に教育の分野では、近年モラルハザードが起き、痛ましい事件が頻発に起きている。何か日本人に謙虚さが消えか

ているように思える中で、今回の改正では、自分の生まれた国・親・兄弟・友人を大切に想う心を基本に、「公共」の概念を重視した内容になっております。

一部偏った個人主義から共存共栄の精神への転換を促すことに繋がっているかと思っております。

また景気面では、あまり比較はできませんが、戦後最大と言われた「いざなぎ景気」を超える好況が持続的になっており、デフレを克服することができれば名目成長率も上

がっていくと思っております。

しかしながら、今後の課題として、強い経済成長を目指すには、人口減少社会や地域、所得格差、財政再建等、克服していかなければならない点が多々あります。

そのため平成十九年度の党税制改正では、成長経済を後押しすべく、減価償却費の見直し、特定同族会社の内留留保金課税の撤廃等、企業関連の減税政策を数多く打ち出したところであります。

業界におかれましては、皆様の日頃のご努力により、リサイクルがほぼ日常的に定着したと見ております。

今後は、経済と環境の融合を更に深め、環境ビジネスが進展する形で、資源循環型社会の形成を目指していかねばなら

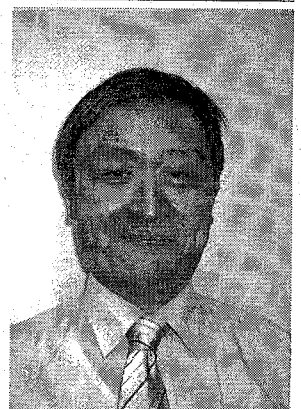
ないと思っております。

私も微力ながら全力で励んでまいり所存でございますので、引き続きご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

循環型経済社会の構築に向けて

経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課長

横田 真



新年あけましておめでとうございます。

平成十九年の年頭に当たり、謹んで新年の御挨拶を申し上げますとともに、経済産業省における循環型経済社会形成施策についての所感の一端を述べさせていただきます。

昨年は、個別製品に着目したリサイクル法の先駆けである容器包装リサ

イクル法の改正が行われました。

今般の改正は、国・自治体・事業者・国民等すべての関係者の連携の下、容器包装廃棄物のリデュース、リユース、リサイクルのいわゆる3Rを効果的に推進するとともに、リサイクルに要する社会全体のコストの抑制を図ることを目指したもので

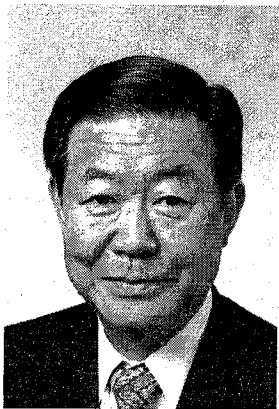
す。

本年は、新たな制度の周知を図り、円滑な施行に努めてまいります。

容器包装リサイクル法を皮切りに、各種リサイク

組合の団結力に期待

全国中小企業団体中央会 会長 佐伯 昭雄



新年あけましておめでとうございます。

日本経済は戦後最長の

景気回復と言われているが、地域格差、企業格差などもあり、中小企業

の多くにはまだその実感がありません。

この様な中で全国中小企業団体中央会が50周年を迎えます。

多くの皆様のご支援、ご協力に厚く御礼申し上げます。

昨年は政府系金融機関の改革、とりわけ我々組合に最も関係の深い商工中金の民営化という課題がありました。また、三

ル法は、見直しの時期に入ってきております。

食品リサイクル法や家電リサイクル法につきましては、既に審議会での議論が進展しております。

また、古紙やカレットの利用率の目標などを定めている資源有効利用促進法につきましても、本年から施行状況について検討を進めることになりました。

各種リサイクル法の見直しにあたっては、これまでの施行状況や、各種制度を取り巻く国内外の環境変化などを踏まえ、より効果的・効果的な制度にすべく検討を進めてまいります。

貴連合会は、これらの法制度が施行される以前から、再生資源の収集・運搬・加工の事業の実施を通じて、循環型経済社会の構築に貢献されてまいりました。

また、リサイクル化証

位一体改革による中小企業連携組織対策事業補助金の削減や原材料費の高騰など多くの難しい問題があります。

この様な時にこそ、個々の企業では解決できない問題を、組合の団結の力により解決に向け前進させて行かねばなりません。

また今年は地方選挙や参議院議員選挙など我々中小企業にとって重要な選挙の年でもあります。大きな民意の一つとして中小企業施策の拡充強化が反映される様な選挙になることを願うものであります。

そのため継続して常に改革、改善に取り組むと同時に全国の中央会、参加組合の改革、改善にも積極的に支援を申し上げる所存であります。

変化を先取りする覚悟で日々前進する中央会にしなければなりません。今年は皆様方にとって良い年であることを祈念して年頭の挨拶といたします。

「鉄鋼新時代」に向け

(社)日本鉄リサイクル工業会
会長 中辻 恒文



新春を迎えるにあたり、新年のご挨拶を申し上げます。
貴連合会の皆様にご挨拶申し上げます。

昨年度の鉄鋼業界におきましては、世界的規模での再編や資本の集約化が推進される一方、粗鋼生産二億トンの「鉄鋼新時代」とも言える新しいステージに入った様相です。

粗鋼生産の伸びでは、中国ばかりが日本では話題となりがちですが、目を世界に転じてみますと、ロシア、ブラジル、インド、東欧諸国、アジア各国など全ての地域で粗鋼生産は成長を続けています。本年度を含めて少なくともここ数年間は日本経済、世界経済とも堅調に推移すると予測されています。

更に拡大し粗鋼生産も進捗するものと見られます。このような状況の中で、粗鋼生産が伸びを続ける中で、さらに鉄鋼業界の再編や提携、今後益々進むと思われる、今後益々大規模な鉄鋼業の枠組み変更、構造変化が起こるものと見られます。その一大変化的影響を鉄スクラップは強く受けており、結果として高価格となつていくと判断しています。

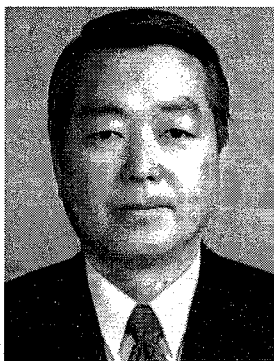
一方、日本における鉄スクラップ発生量はここ数年間ほとんど増加しておらず、統計上は今後も現在と同レベルで推移すると予測されています。鉄鋼メーカーの集約化が進められる中で、粗鋼生産の増量ですの、私も鉄リサイクル業界に対する私の高価格判断に対する私の高価格判断

はあくまでも過去数十年間の枠組みに適合したものであり、全く新しい枠組みが始まった今、現在の価格が高レベルなのか、或いはどうかを適正レベルなのかを判断するのは時期尚早だとも考えております。

また、家電リサイクル、自動車リサイクルなど循環型社会実現に向けた事業にも積極的に取り組んで参ります。廃棄製品のリサイクル処理から発生する鉄を基軸とした再生資源の適切な処理と加工への取り組みは、循環型社会実現に向けた私も鉄リサイクル業界に与えられた大きな使命と捉えており、再生資源事業に長年のご経験と蓄積をお持ちの貴連合会と密に情報交換を行いながら、より優れたリサイクルシステムを作り上げて行く所存です。本年も引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

古紙の安定供給に努力

全国製紙原料商工組合連合会
理事長 栗原 正雄



新年おめでとうござい
ます。

昨年製紙業界に於いて、集約化、大型化、業務提携の様々な結がなされ、正に大変化の年でありました。

古紙業界では昨年も古紙集荷の拡大のトレンドが続き、平成十二年以降連続して年間約八〇万トン弱の集荷増が達成されたものと思われま

増集荷分は中国を中心とするアジアに輸出され、市況は四年連続のタイトな状況が続きました。

価格面でも年間を通して輸出価格が約二割の割高となり、国内メーカーへの販売を主体としている直納問屋は採算的に苦しい状況が長期に渡って継続しています。

本年は久しぶりに国内洋紙メーカーさんの脱墨

装置の新設計画が目白押しであり、これまで輸出向けられた古紙の幾分かは取り戻さないと古紙不足となるのではないかと、今年は国際マーケットとの価格乖離が縮小するものと期待されています。

又、本年は全原連の設立三〇周年の年となり、五月に記念式典を予定しており、様々な企画が進行中であります。

大勢の関係者の皆様の御来場をお待ち申し上げております。

又、かねて立案中でありました「古紙商品化適格事業所認証制」や「古紙リサイクルアドバイザー認定制度」も本年中に立ち上がると思ひます。

業界と市民の連携で

古紙問題市民行動ネットワーク
代表 中村 正子



新年あけましておめで
とございます。

古紙問題市民行動ネットワーク(古紙ネット)が発足したのは一九九三年の四月です。発足から

は、古紙循環プロジェクトが始まった九十七年当時

は、業界界の市民の目から見て、問屋業界と回収業界は必ずしも意思の疎通がうまくいっていないように思ひます。

古紙ネットに於いては、情報交換はスムーズになっていきました。

古紙循環プロジェクト以外で話し合いや連携もなされているようで、二〇〇三年頃までは毎月一回だった古紙循環プロジェクトがその後二ヶ月に一回、そして三ヶ月に一回と減りました。

業界界の市民の立場から、市民の立場から、古紙ネットの諸活動への支援をお願いできました。今後は、問屋業界がさらに連携して力を合わせ、持続的な古紙循環システムをつくらせていくことを期待しています。

私たちが市民・消費者は次世代の子どもたちへの思いから活動が続けて参ります。

神奈川県資源回収商業協同組合

理事長 小松 敏和

〒220-0023 神奈川県横浜市中区西平沼 1-40-17
モンテベルデ 横浜 311 号室
TEL 045(313)6100・FAX 045(313)6161

奈良県資源回収事業協同組合

理事長 山原文之

〒635-0045 奈良県大和高田市三倉 2-4-17
TEL 0745(64)0787・FAX 0745(64)0788

栃木県リサイクル協同組合連合会

会長 谷中 勝典

〒321-0345 栃木県宇都宮市大谷町 257
TEL 028(652)0245・FAX 028(652)0736

東京都資源回収事業協同組合

理事長 新井 英一

〒220-0023 東京都千代田区三崎町 2-21-1
TEL 03(3263)3676・FAX 03(3263)3679

大阪府再生資源事業協同組合

理事長 入江 金男

〒567-0865 大阪府茨木市横江 2-9-45
TEL 0726(30)6730・FAX 0726(30)6731

広告求む!

千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会

会長 大塚 勝彦

〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見 2-22-6
富士ビル 5 階 A 号室
TEL 043(227)8273・FAX 043(227)2033

埼玉県再生資源事業協同組合

理事長 細田 益弘

〒338-0826 埼玉県さいたま市桜区大久保領家 343-7
TEL 048(852)9048・FAX 048(852)9075

広告求む!

奈資協・青年部レポート

中国リサイクル事情 再生工場、メーカー等を現地視察

はじめに

現在「日本の再生資源業界は中国によって成り立っている」と言っても過言でない。実際に古紙については、日本国内の総回収量の約一割五分が輸出され、その内の約八割が中国向けである。

なぜ中国は素材原料を必要とするのか？なぜ日本の古紙なのか？理由は中国国内の回収システムが未整備で、加えて中国産品や製品素材が国外に流れてしまう。

このために海外からの調達に依存せざるを得ず、更に品質が良く、輸送コストも割安な日本からの輸出が増えている。

〇二年には二九〇万トンだった輸出は〇五年には九五〇万トンに達した。最新の大型製紙設備も設置されて中国国内の紙の生産量も大幅に増え、益々製紙原料確保に乗り出している。

二〇〇八年には北京オリンピック、二〇一〇年には上海万博を控えて、中国はまだ成長を続ける目を離せない重要な国である。

一巡した。先進的設備が入った企業や製紙・製鉄メーカー、行政の設備、オフィス問屋、など等。青年部はこの節目の年に、上述のように再生資源業界にとっては極めて重要な国「中国」を視察地に選んだ。中国国内の再生資源物の品質、回収方法、製紙メーカーや服の縫製品の検品現場などを見るために、杭州地区と上海地区を調査視察することとした。

【視察行程】
△二〇〇六年十一月二十三日(木) 出発：杭州(富陽)へ
△富陽上遊紙工場 見学
△浙江省興合集團実業有限公司 見学
△二十四日(金)
△富陽廢紙交易朝市 見学
△上海へ
△上海和協服装整理公司 見学
△二十五日(土)
△上海南方冶金回收再生

【参考】
現地通貨 一五元/元
杭州空港からバスで一時間の富陽地区には約三〇〇社の中小の白板製紙会社が集まり、軒を連ねている。

十五年前の物件費は三〇〇元(五〇〇〇円)／月だったが、現在七五〇元(二二〇〇〇円)／月と倍以上。更に福利厚生なども一〇〇%会社負担でのかかっている。

「現在の会社を拡張するのは難しく、二十年が一つの区切り」との事。
「国との契約が最長二十年と決まっている」と社長は語る。

「上海南方冶金回收再生公司(古紙・金属回収業者)」
約五〇〇坪の敷地にスクラップと古紙を回収している。月の取扱量は鉄約六〇〇〇t、古紙約五〇〇〇t。この敷地以外にもいくつかの事業所を持っている。勿論プラスチックなども扱っているというが、今回はスクラップと段ボール置き場のみの視察だった。

スクラップは四合の天井とシンプルで小さな切断機とシンプルで大きな切断機の山が一杯だった。収集は国内全域で、近くの大きな製鋼メーカー宝山製鉄に持ち込んでいる。仕入価格は約二四〇〇元(三六〇〇〇円)／t。

販売価格は約二二〇〇元(三二五〇〇円)／t。古紙は五〇馬力ほどの小さなベアラーが1台と新聞・雑誌用施設が別の場所にあるという。

【後記】
今年は祭日を除く事ができ、三泊四日と比較的長期間の日程をとることができた。

残念ながら今回参加できなかった社員もいます。が、今後も皆さんが参加できる企画を考えてゆきたいと考えています。

また青年部に三泊四日の長期にわたる参加をさせていた各社の社長、並びに助成していただきました本組合(組)の方々に感謝いたします。



富陽上遊紙工場にて

【富陽上遊紙工場】(白板製紙メーカー)
会社内に入ると所狭しと古紙が山積み。取扱量は一〇万t/年と比較的小さな工場で、アメリカからの雑誌が多く、品質もとても低い印象を受けた。それを多くの工員が全て手選別していた。雑誌を選り分ける人、新聞を選り分ける人、その他ベトボトルや異物を選別する人。

選別したものをリヤカーに乗せて(約五〇〇〇/八〇〇kg/台)、小型計量器に乗せ、各ストックヤード場所まで下ろしする。ここでは、雑誌古紙、段ボール古紙、そして上物古紙を使い、主に中国国内の他にアメリカや日本から古紙を調達しているという。

【浙江省興合集團実業有限公司】(古紙ストックヤード)
製紙メーカーとデライアが協同で出資した古紙輸入倉庫である。敷地面積約六千坪と極めて広く、主に日本からの輸入古紙の一次的ストックヤードであった。中には古紙がぎっしり積まれており、コンテナから荷下ろしするためのスロープと、荷崩れした時の為の簡易プレスが置いてあるシンプルなヤードであった。

【富陽廢紙交易朝市】
近くに富陽地区の製紙メーカーが三〇〇社あり、製紙メーカーの担当者が毎朝この市場で買い付けを行っている。

この市場は中国国内でも珍しく、これだけの規模は他では見られないという。朝早くから市場は開かれ、五時半に到着すると既にかなりの数のトラックが溢れんばかりに古紙を積んで待機している。毎日、トラクターのようなトラック(一五t車まで)五〇〇〇六〇〇台が集まり八時まではほぼ完売だと言う。数量に比べて四〇〇〇五〇〇〇tが、遠い所では三〇〇〇km離れた場所から持ち込まれるという。荷台は逆三角形の積み方で、

その見事な積み方に圧倒される。四tトラックに段ボールで約六tは積んで上げる前には、日本への輸出品の八九割は不良品だったので、「中国製」の「粗悪品」と見なされた。

中国には既に約二〇〇の検品会社があるが、この会社が中国での検品会社の存在を位置づけた。

現在日本に入ってくる品物が良くなっているのは、高性能の機械を導入したり、ノウハウを積み上げたたりしている管理会社があることを納得した。

現在約二七〇名の社員を抱えているが、

富陽上遊紙工場置き場

富陽上遊紙工場内部

浙江省興合集團実業有限公司

【上海和協服装整理公司】
十五年前に日本人が中国人と合弁で設立した、中国国内では最初の縫製品検品工場。山野辺社長から中国進出のご苦労や実践的内容の説明を受けた。

中国に来てまず大変なのは、法律がコロコロ変わる。日本でも同じだが、色々な規制が仕事に影響してくる。自国の産業を守るため外資にはとても厳しく、ノウハウだけが吸収されてしまう

のが現状である。この会社では、輸出される衣類の約九割が日本向けという。この会社を立ち上げる前は、日本への輸出品の八九割は不良品だったので、「中国製」の「粗悪品」と見なされた。

中国には既に約二〇〇の検品会社があるが、この会社が中国での検品会社の存在を位置づけた。

現在日本に入ってくる品物が良くなっているのは、高性能の機械を導入したり、ノウハウを積み上げたたりしている管理会社があることを納得した。

現在約二七〇名の社員を抱えているが、

富陽上遊紙工場置き場

富陽上遊紙工場内部

浙江省興合集團実業有限公司

上海和協服装整理公司

上海南方冶金回收再生公司

【編集後記】
新年号と言うには皆様の手元に届くのが遅くなりました。事をお詫言申し上げます。実を申し上げますと新年号の作成は広報委員に取り組みは比較的楽なものなのです。年頭の所感や挨拶を頂戴できさえすれば紙面が埋められるからです。

ところが、今年は一面に日資連の現況報告と言える本省認可取得へ向けたり取り組みを掲載するなど、例年とは違った紙面構成となっており、楽なものではありません。広報委員一同、このような理由での苦勞であれば望む所です。今年も頑張ります。

片岡

段ボールのリサイクルは次世代の環境作り!!

循環型社会に最適な包装資材として今後ともリサイクルの推進・向上に努めます。

段ボールリサイクル協議会

リサイクルシンボルの普及促進中!!

資料問い合わせは事務局へ
詳細については日本段ボール工業会のホームページ
(http://www.jcca.gr.jp)で閲覧できます

東京都中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館
(日本段ボール工業会内)
TEL03-3248-4851 FAX03-5550-2101